

# 第 I 部 総 論

## 1 水道の普及状況

本県の水道普及率は、平成29年3月末現在で94.2%（総人口5,098千人に対して給水人口4,801千人）となっており、未給水人口は297千人となっています。

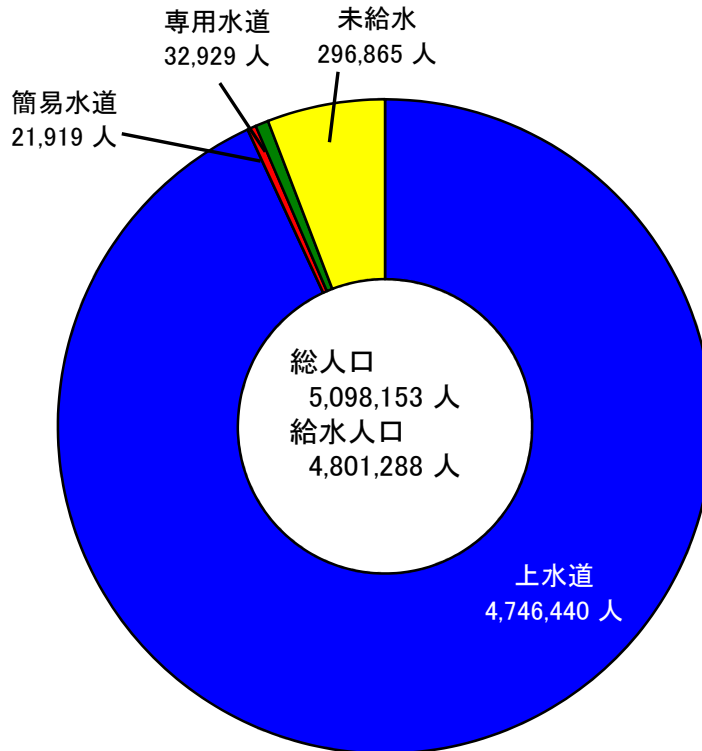
広域圏別の水道普及率は、福岡地区と北九州地区が96.3%と最も高く、次いで筑豊地区が95.5%、筑後地区が84.5%となっています。

また、給水人口の内訳は、上水道が4,746千人（98.8%）と大部分を占めており、次いで専用水道が33千人（0.7%）、簡易水道が22千人（0.5%）となっています。

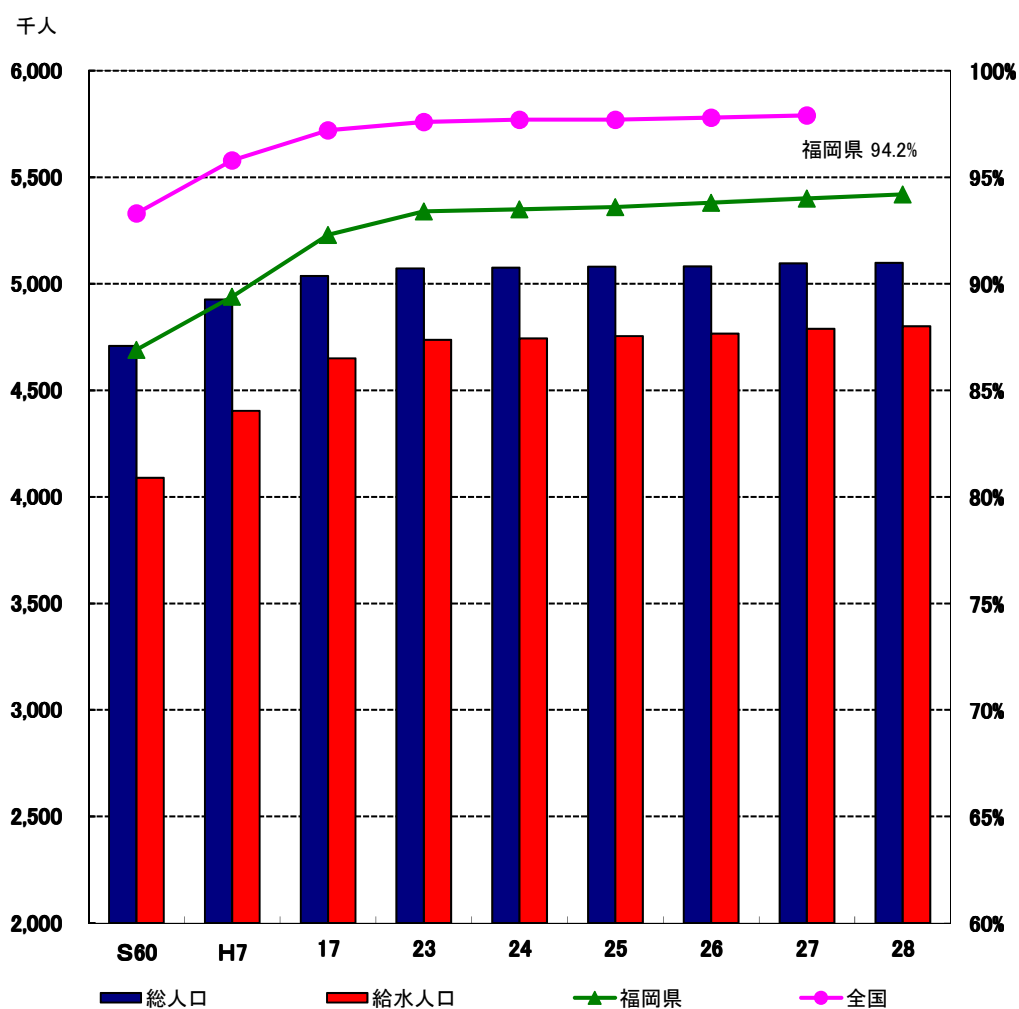
### ◎ 現在給水人口と普及率（平成29年3月末現在）

広域圏	総人口 (人)	現在給水人口 (人)			未給水人口 (人)	普及率
		上水道	簡易水道	専用水道		
福岡	2,532,620	2,438,836	2,421,225	1,672	15,939	96.3%
北九州	1,267,840	1,220,953	1,213,896	5,330	1,727	96.3%
筑後	887,711	750,128	729,266	8,998	11,864	84.5%
筑豊	409,982	391,371	382,053	5,919	3,399	95.5%
県計	5,098,153	4,801,288	4,746,440	21,919	32,929	94.2%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上



◎ 水道普及状況の推移



	S60	H7	17	23	24	25	26	27	28	
本県の総人口 (千人)	4,708	4,926	5,037	5,072	5,076	5,081	5,082	5,096	5,098	
本県の給水人口 (千人)	4,090	4,404	4,650	4,737	4,744	4,755	4,767	4,789	4,801	
普及率	福岡県	86.9%	89.4%	92.3%	93.4%	93.5%	93.6%	93.8%	94%	94.2%
	全国	93.3%	95.8%	97.2%	97.6%	97.7%	97.7%	97.8%	97.9%	未公表

※本資料作成時点で、全国の平成28年度値は未公表

## 2 給水の状況

### (1) 年間給水量

平成 28 年度の年間給水量は 487,094 千 m<sup>3</sup>となっており、その大部分を上水道による給水が占めています(99.5%)。なお、年間給水量は前年度から 35 千 m<sup>3</sup>増加しています。

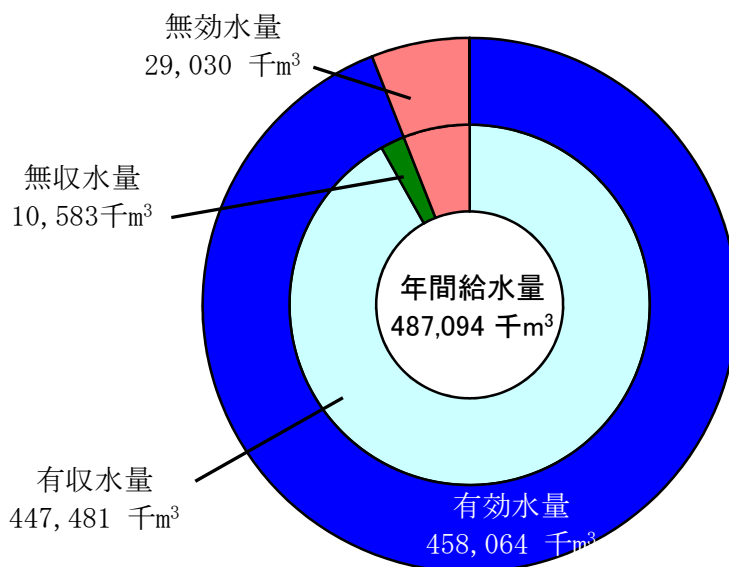
また、漏水などによる無効水量を除いた、年間給水量に対する有効水量の割合(有効率)は 94.0%となっています。

### ◎ 広域圏別給水量(上水道、簡易水道)

(単位:千m<sup>3</sup>)

区分	広域圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量の内訳		無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
				有収水量 C	無収水量 D			
上水道	福岡	228,235	221,204	218,215	2,989	7,031	96.9%	95.6%
	北九州	135,637	125,338	121,978	3,360	10,299	92.4%	89.9%
	筑後	73,870	68,786	65,937	2,849	5,084	93.1%	89.3%
	筑豊	46,674	40,724	39,403	1,321	5,950	87.3%	84.4%
	計	484,416	456,052	445,533	10,519	28,364	94.1%	92.0%
簡易水道	福岡	150	142	142		8	94.7%	94.7%
	北九州	378	362	343	19	16	95.8%	90.7%
	筑後	1,285	991	947	43	295	77.1%	73.7%
	筑豊	864	518	515	2	347	60.0%	59.6%
	計	2,678	2,012	1,948	64	666	75.1%	72.7%
合計		487,094	458,064	447,481	10,583	29,030	94.0%	91.9%

※ 簡易水道の数値については、小数点以下を四捨五入しているため、合計値と一致しない



- 年間給水量 : 水道事業者が自己の給水区域に対して給水した実績水量 (有効水量+無効水量)
- 有効水量 : 水道の使用上有効とされた水量 (有収水量+無収水量)
- 有収水量 : 料金徴収の基礎となった水量
- 無収水量 : 料金徴収の対象とならなかった水量 (管洗浄用、公衆便所用等)
- 無効水量 : 水道の使用上無効とされた水量 (配水管からの漏水等)

(2) 用途別有収水量

上水道事業における有収水量の用途別内訳は、生活用が 357,480 千 m<sup>3</sup>、業務・営業用が 76,304 千 m<sup>3</sup>、工場用が 9,119 千 m<sup>3</sup>、その他が 2,630 千 m<sup>3</sup>となっており、生活用、業務・営業用がその大部分を占めています。

◎ 広域圏別用途別有収水量(上水道)

(単位:千m<sup>3</sup>)

広域圏	生活用	業務・営業用	工場用	その他	計
福岡	175,903	41,037	644	631	218,215
北九州	96,987	19,505	4,357	1,129	121,978
筑後	53,293	10,069	1,760	815	65,937
筑豊	31,297	5,693	2,358	55	39,403
計	357,480	76,304	9,119	2,630	445,533
構成比率	80.2%	17.1%	2.1%	0.6%	100.0%

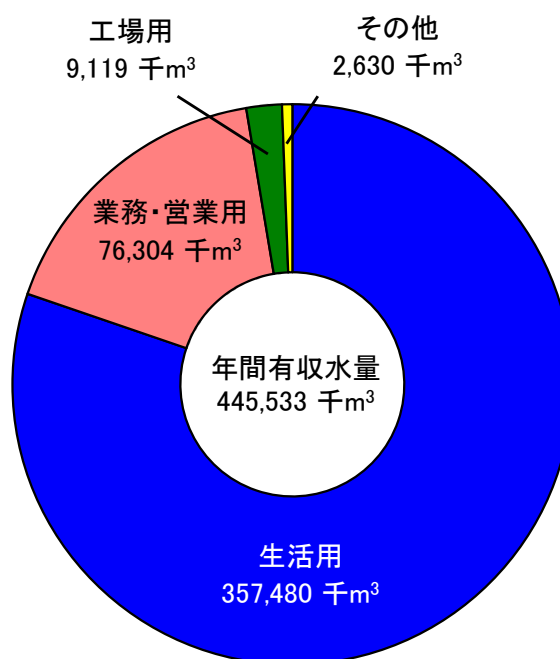
※ 用途区分は次のとおり

生活用 : 一般家庭用

業務・営業用 : 官公署、学校、病院、事務所、公衆浴場用等

工場用 : 工場用

その他 : 水道事業所用水、水道メーター不感水量等



(3) 平均給水量、最大給水量

平成 28 年度において一日平均給水量が 1,335 千 m<sup>3</sup>、一日最大給水量が 1,516 千 m<sup>3</sup> となっています。

一人一日当たりでは平均給水量が 280 リットル、最大給水量が 318 リットルとなっており、広域圏別にみると、筑豊地区が最も多く、次いで北九州地区、筑後地区、福岡地区の順となっています。

◎ 広域圏別平均給水量、最大給水量

広域圏	区分	平均給水量		最大給水量	
		日平均 (m <sup>3</sup> )	一人一日 (リットル)	日最大 (m <sup>3</sup> )	一人一日 (リットル)
福岡	上水道	625,301	258	688,182	284
	簡易水道	413	247	1,043	624
	計	625,714	258	689,225	284
北九州	上水道	371,608	306	424,072	349
	簡易水道	1,035	194	1,567	294
	計	372,643	306	425,639	349
筑後	上水道	202,384	278	234,716	322
	簡易水道	3,521	391	4,468	497
	計	205,904	279	239,184	324
筑豊	上水道	127,874	335	158,907	416
	簡易水道	2,368	400	3,193	539
	計	130,242	336	162,100	418
県計	上水道	1,327,167	280	1,505,877	317
	簡易水道	7,337	314	10,271	469
	計	1,334,504	280	1,516,148	318
全国	上水道	-	330	-	386

○ 平均給水量

- ・ 日平均：年間給水量 ÷ 365日(1年)
- ・ 一人一日：日平均給水量 ÷ 給水人口

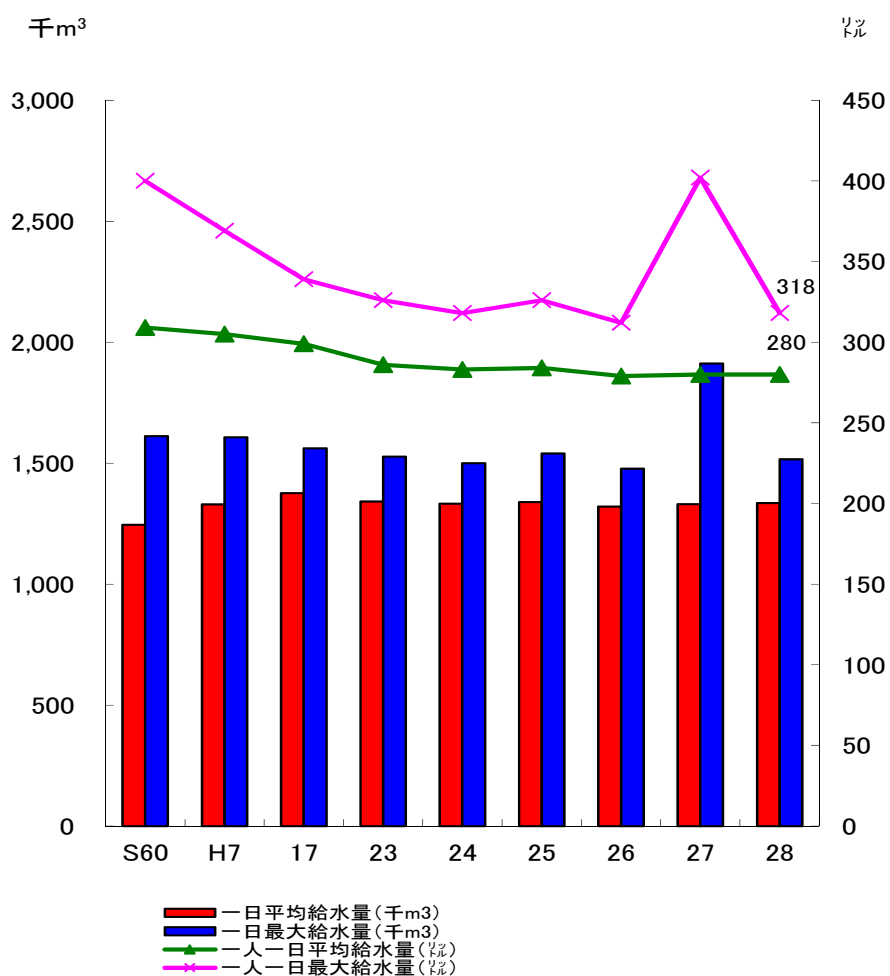
○ 最大給水量

- ・ 日最大：水道事業者ごとの日最大給水量の合計
- ・ 一人一日：日最大給水量 ÷ 給水人口

※ 全国は平成 27 年度末の値(本資料作成時点で平成 28 年度値は未公表)

一日最大給水量、一人一日最大給水量は、平成 28 年 1 月の記録的寒波に伴う給水管の凍結・破損等による漏水の影響で平成 27 年度は増加したため、前年度に比べると減少しましたが、一日平均給水量・一人一日平均給水量は、近年ほぼ横ばいで推移しています。

◎ 一日平均・最大給水量、一人一日平均・最大給水量の推移(上水道、簡易水道)



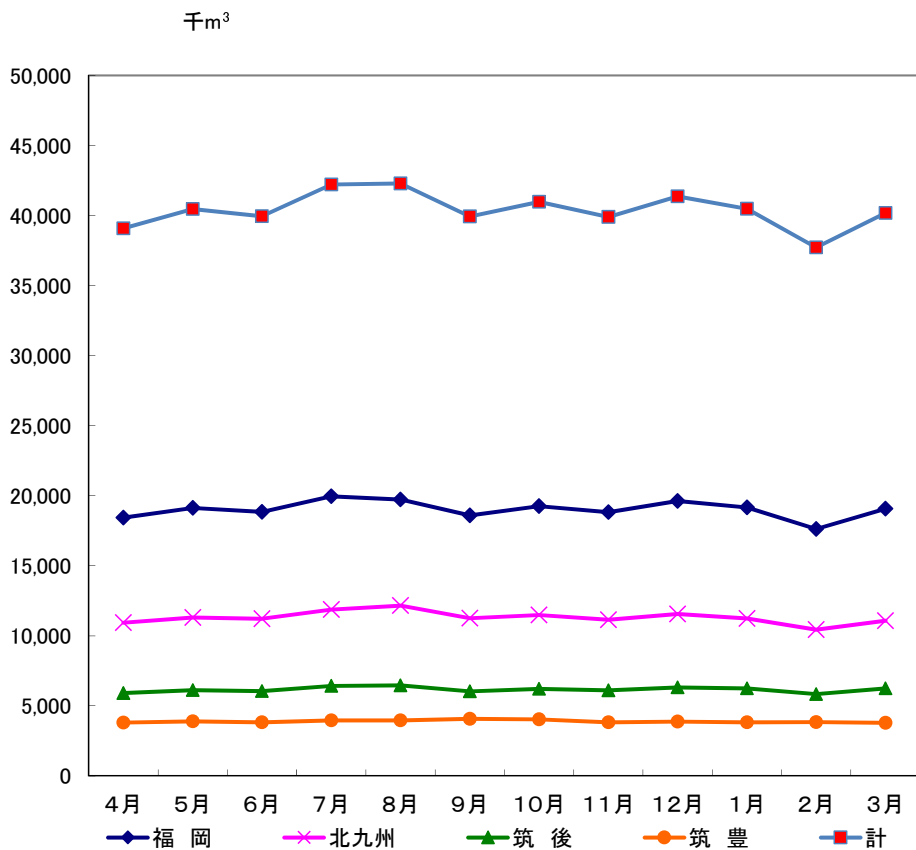
区分 \ 年度	S60	H7	17	23	24	25	26	27	28
一日平均給水量(千m³)	1,245	1,329	1,376	1,341	1,333	1,339	1,321	1,331	1,335
一日最大給水量(千m³)	1,611	1,607	1,562	1,527	1,500	1,540	1,477	1,912	1,516
一人一日平均給水量(%)	309	305	299	286	283	284	279	280	280
一人一日最大給水量(%)	400	369	339	326	318	326	312	402	318

(4) 月別給水量

平成 28 年度の上水道事業における月別給水量の最大値は 8 月の 42,284 千 m<sup>3</sup> であり、最小値は 2 月の 37,714 千 m<sup>3</sup> となっています。

広域圏別にみると、福岡地区の最大値は 7 月の 19,962 千 m<sup>3</sup>、最小値は 2 月の 17,612 千 m<sup>3</sup>、北九州地区の最大値は 8 月の 12,152、最小値は 2 月の 10,437 千 m<sup>3</sup>、筑後地区の最大値は 8 月の 6,448 千 m<sup>3</sup>、最小値は 2 月の 5,831 千 m<sup>3</sup>、筑豊地区の最大値は 9 月の 4,060 千 m<sup>3</sup>、最小値は 3 月の 3,788 千 m<sup>3</sup> となっています。

◎ 月別給水量(上水道)



(単位: 千m<sup>3</sup>)

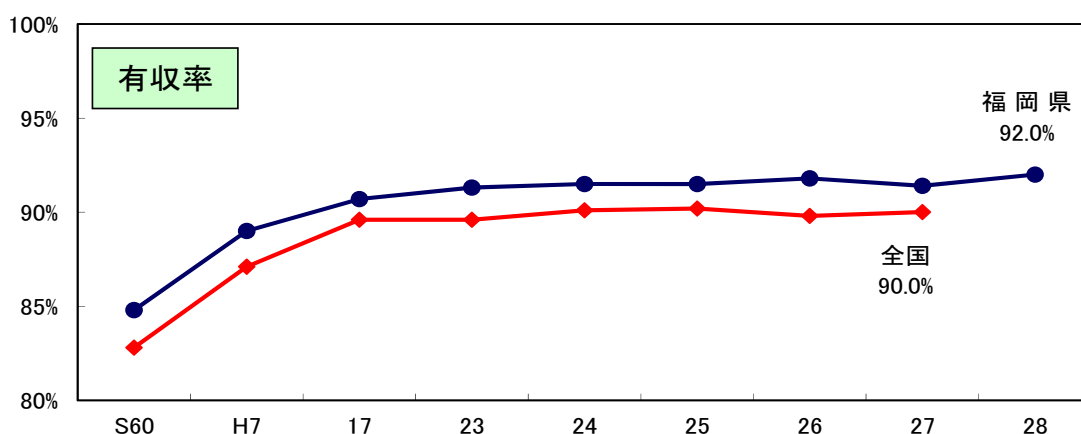
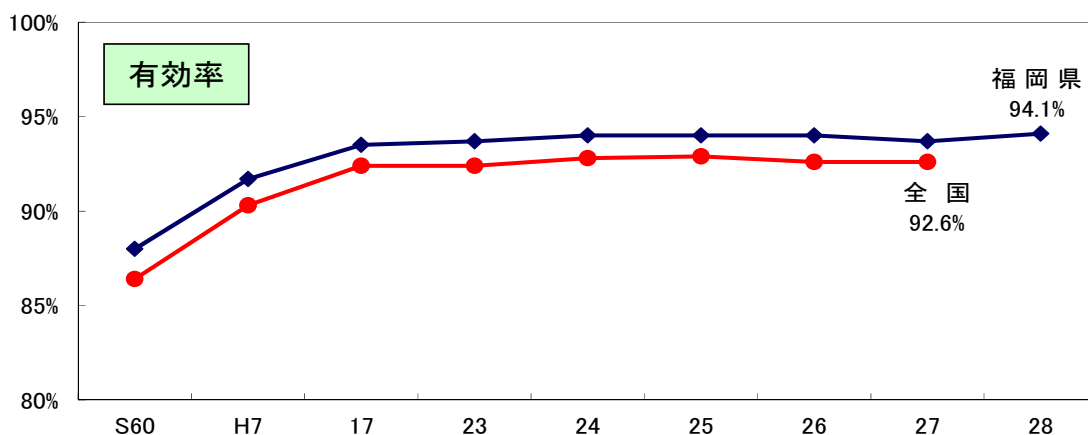
広域圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福岡	18,434	19,130	18,844	19,962	19,727	18,596	19,252	18,828	19,616	19,165	17,612	19,069	228,235
北九州	10,928	11,305	11,215	11,869	12,152	11,248	11,484	11,141	11,550	11,234	10,437	11,073	135,636
筑後	5,912	6,129	6,057	6,423	6,448	6,024	6,203	6,103	6,321	6,252	5,831	6,252	73,955
筑豊	3,804	3,895	3,822	3,957	3,957	4,060	4,034	3,826	3,876	3,821	3,834	3,788	46,674
計	39,078	40,459	39,938	42,211	42,284	39,928	40,973	39,898	41,363	40,472	37,714	40,182	484,500



(5) 有効率、有収率

上水道事業における平成 28 年度の有効率は 94.1%、有収率は 92.0%となっており、どちらも全国平均を上回って推移しています。

◎ 有効率、有収率の推移(上水道)



		S60	H7	17	23	24	25	26	27	28
有効率	福岡県	88.0%	91.7%	93.5%	93.7%	94.0%	94.0%	94.0%	93.7%	94.1%
	全国	86.4%	90.3%	92.4%	92.4%	92.8%	92.9%	92.6%	92.6%	未公表
有収率	福岡県	84.8%	89.0%	90.7%	91.3%	91.5%	91.5%	91.8%	91.4%	92.0%
	全国	82.8%	87.1%	89.6%	89.6%	90.1%	90.2%	89.8%	90.0%	未公表

○ 有効率：年間給水量に対する有効水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度有効に使用されているかを示す指標

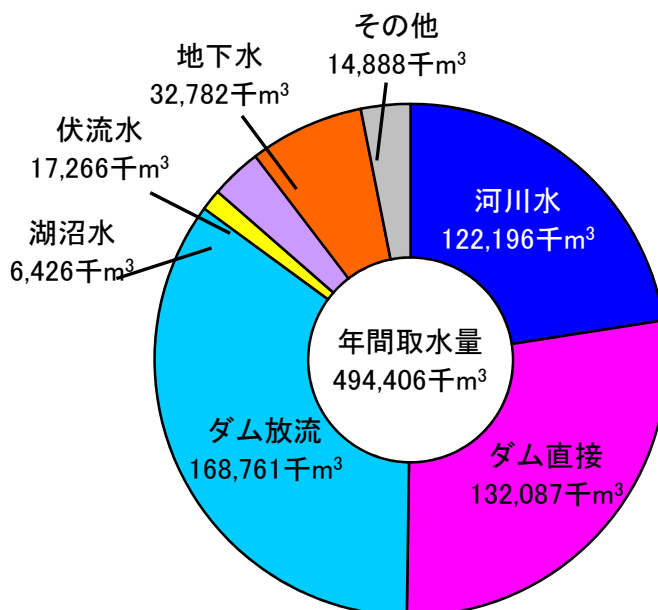
○ 有収率：年間給水量に対する有収水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度収益につながっているかを示す指標

※ 本資料作成時点で、全国の平成 28 年度値は未公表

### 3 取水の状況

平成 28 年度における上水道事業及び水道用水供給事業の年間取水量は合わせて 494,406 千 m<sup>3</sup> で、その大部分を表流水(河川水、ダム直接、ダム放流及び湖沼水)からの取水が占めています(86.9%)。

#### ◎ 年間取水量の内訳(上水道、水道用水供給)



#### ◎ 年間取水量の推移(上水道、水道用水供給)

(単位:千m<sup>3</sup>)

年度	S60	H7	17	23	24	25	26	27	28
河川水	116,791	163,039	129,617	118,090	128,986	120,143	113,648	111,554	122,196
ダム直接	131,761	113,409	109,365	126,879	107,876	115,216	128,638	137,185	132,087
ダム放流	134,891	120,667	165,716	157,447	161,330	176,168	166,278	172,500	168,761
湖沼水	5,537	7,981	9,327	7,229	7,431	6,681	6,459	6,599	6,426
伏流水	22,736	24,389	31,518	20,002	21,715	22,729	21,033	15,968	17,266
地下水	47,998	56,701	49,135	49,002	46,449	39,794	38,963	35,865	32,782
その他	1,003	1,429	24,138	15,011	27,287	15,399	21,723	15,476	14,888
(海水淡水化)	-	-	(23,497)	(14,208)	(26,540)	(14,597)	(20,905)	(14,809)	(14,281)
計	460,717	487,615	518,816	493,660	501,074	496,130	496,742	495,147	494,406

※ その他欄の( )は、海水淡水化施設で内数。(平成17年度以降)

#### 4 財務の状況

##### (1) 総収益と総費用

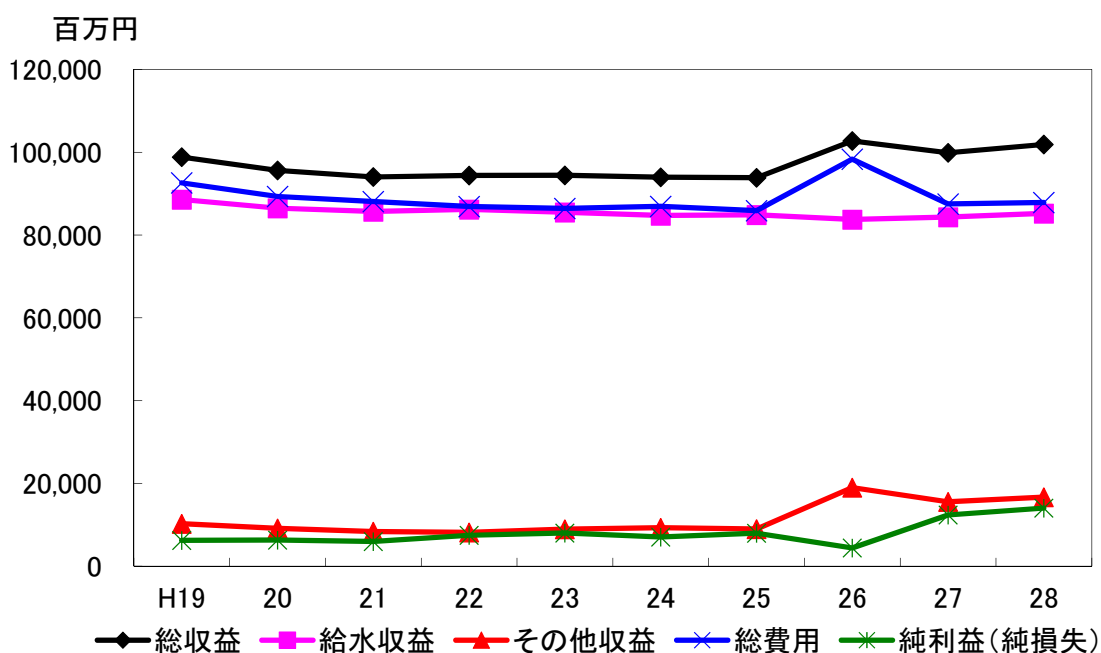
平成 28 年度における上水道事業の総収益は 1,019 億円となっており、前年度から 20 億円増加しています。また、総費用は 879 億円となっており、前年度から 4 億円増加しています。

なお、総収益から総費用を差し引いた純利益は 140 億円となっており、前年度から 16 億円増加しています。

##### ◎ 総収益と総費用の推移(上水道)

(単位:千円)

年度	総 収 益 (A)		総 費 用 (B)	純 利 益 (A)-(B)
	給水収益	その他収益		
H19	98,824,166	10,250,193	92,608,199	6,215,967
20	95,636,195	9,138,524	89,317,396	6,318,799
21	94,048,911	8,349,431	88,084,623	5,964,288
22	94,376,472	8,179,069	86,888,804	7,487,668
23	94,415,833	8,924,002	86,423,294	7,992,539
24	93,967,231	9,268,662	86,907,512	7,059,719
25	93,839,680	8,965,847	85,887,029	7,952,651
26	102,736,917	18,985,014	98,336,934	4,399,983
27	99,874,383	15,533,612	87,490,321	12,384,062
28	101,890,149	16,681,098	87,865,838	14,024,311



(2) 費用構成

平成28年度の上水道事業における費用構成をみると、減価償却費と受水費がその約半分を占めています。

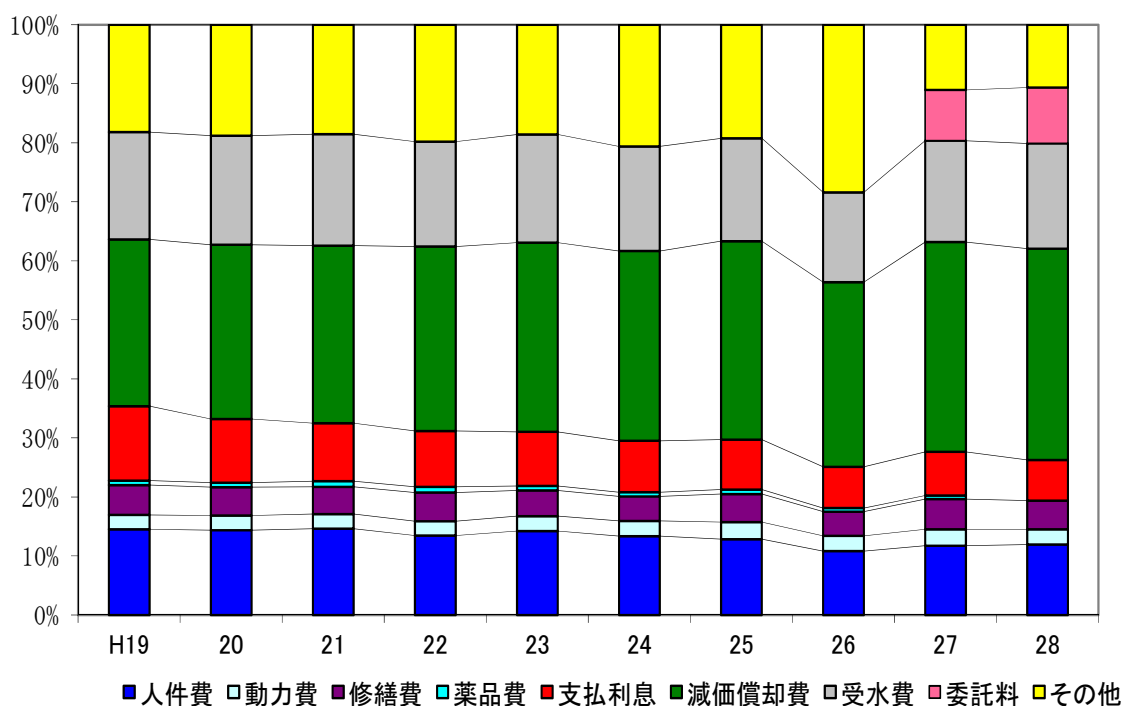
また、減価償却費は増加傾向にあります。

◎ 費用構成の推移(上水道)

(単位:千円)

年度	H19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
人件費	13,326,208 (14.5%)	12,674,745 (14.3%)	12,753,005 (14.6%)	11,583,672 (13.4%)	12,163,184 (14.2%)	11,586,512 (13.3%)	10,918,837 (12.8%)	10,572,446 (10.8%)	10,161,902 (11.7%)	10,349,162 (11.9%)
動力費	2,194,508 (2.4%)	2,216,800 (2.5%)	2,135,244 (2.4%)	2,128,387 (2.5%)	2,151,859 (2.5%)	2,247,557 (2.6%)	2,456,538 (2.9%)	2,515,888 (2.6%)	2,372,793 (2.7%)	2,226,399 (2.6%)
修繕費	4,668,713 (5.1%)	4,229,611 (4.8%)	4,031,509 (4.6%)	4,172,701 (4.8%)	3,728,859 (4.4%)	3,593,901 (4.1%)	4,046,637 (4.8%)	4,029,054 (4.1%)	4,460,436 (5.2%)	4,222,599 (4.8%)
薬品費	711,474 (0.8%)	688,817 (0.8%)	847,235 (1.0%)	823,165 (1.0%)	652,646 (0.8%)	628,482 (0.7%)	639,937 (0.8%)	564,837 (0.6%)	507,302 (0.6%)	477,299 (0.5%)
支払利息	11,540,718 (12.6%)	9,559,580 (10.8%)	8,570,961 (9.8%)	8,201,306 (9.5%)	7,854,700 (9.2%)	7,551,342 (8.7%)	7,219,461 (8.5%)	6,832,256 (7.0%)	6,422,951 (7.4%)	5,950,415 (6.8%)
減価償却費	25,935,327 (28.3%)	26,095,868 (29.5%)	26,235,553 (30.1%)	26,946,549 (31.2%)	27,436,205 (32.1%)	27,973,733 (32.2%)	28,588,867 (33.6%)	30,584,689 (31.3%)	30,727,993 (35.5%)	31,074,868 (35.6%)
受水費	16,636,838 (18.1%)	16,317,695 (18.5%)	16,449,304 (18.9%)	15,330,453 (17.8%)	15,679,005 (18.3%)	15,404,023 (17.7%)	14,841,081 (17.4%)	14,845,990 (15.2%)	14,880,467 (17.2%)	15,457,379 (17.7%)
委託料									7,461,594 (8.6%)	8,196,093 (9.4%)
その他	16,720,923 (18.2%)	16,656,167 (18.8%)	16,202,508 (18.6%)	17,113,673 (19.8%)	15,910,362 (18.6%)	17,910,553 (20.6%)	16,389,179 (19.3%)	27,773,301 (28.4%)	9,556,905 (11.0%)	9,244,517 (10.6%)
計	91,734,709 (100.0%)	88,439,283 (100.0%)	87,225,319 (100.0%)	86,299,906 (100.0%)	85,576,820 (100.0%)	86,896,103 (100.0%)	85,100,537 (100.0%)	97,718,461 (100.0%)	86,552,343 (100.0%)	87,198,731 (100.0%)

※平成27年度から「委託料」が、統計項目として追加された。(平成26年度までは「その他」に含まれていたもの。)



## 5 水道料金（上水道）

水道料金は水道事業者ごとに設定されています。

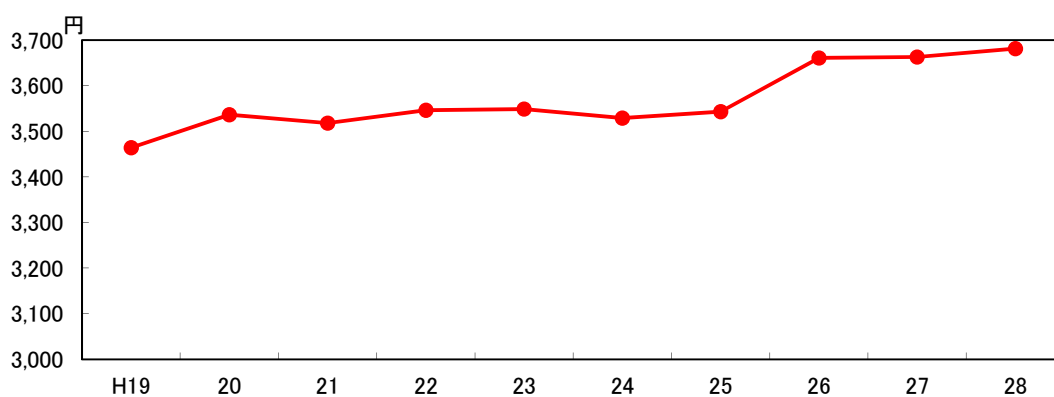
平成29年3月末現在において、家庭用1ヶ月20m<sup>3</sup>の水を使用した際の料金は下記の表のとおりで、3,500円以上4,000円未満としている事業者が最も多く、県平均は3,681円となっています。

### ◎ 家庭用1ヶ月20m<sup>3</sup>当たりの水道料金（上水道）

（平成29年3月31日現在）

区 分	事業体数
2,000円以上～2,500円未満	4
2,500円以上～3,000円未満	6
3,000円以上～3,500円未満	6
3,500円以上～4,000円未満	18
4,000円以上～4,500円未満	12
4,500円以上	4

### ◎ 県平均水道料金の推移（上水道：家庭用1ヶ月20m<sup>3</sup>当たり）



（単位：円）

年度	H19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
福岡県	3,464	3,536	3,518	3,546	3,549	3,529	3,543	3,661	3,663	3,681

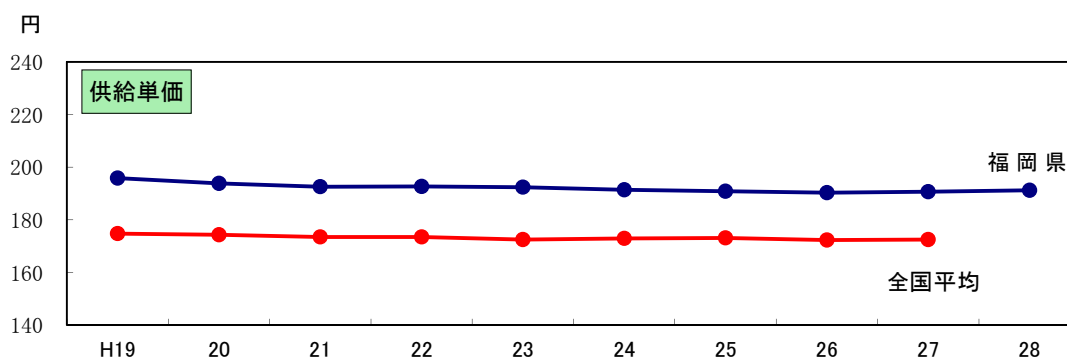
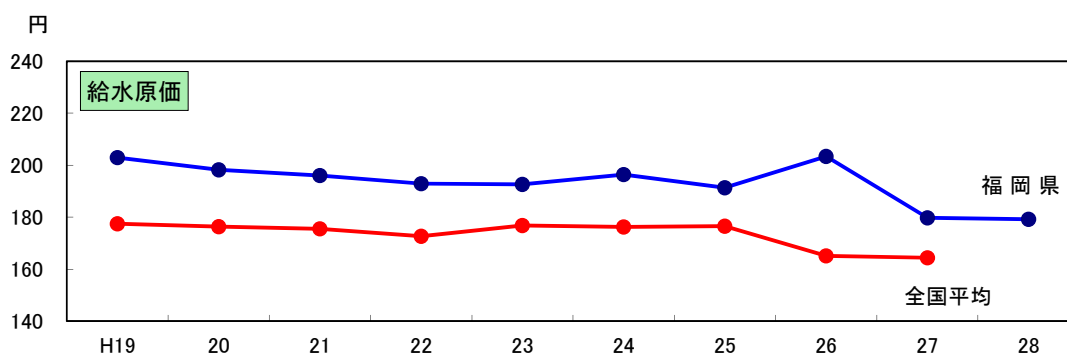
※ 基礎料金・メーター使用料を含む  
 全国平均（平成27年度）：3,192円

## 6 給水原価と供給単価（上水道）

平成 28 年度における上水道事業の給水原価及び供給単価はそれぞれ 179.17 円/m<sup>3</sup> 及び 191.25 円/m<sup>3</sup> となっています。

また、いずれも近年で全国平均を上回っており、横ばいから減少傾向を示しています。

### ◎ 給水原価と供給単価の推移（上水道）



(単位: 円/m<sup>3</sup>)

年度		H19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
給水原価	福岡県	202.89	198.17	195.97	192.86	192.62	196.36	191.35	203.39	179.74	179.17
	全国平均	177.45	176.35	175.47	172.65	176.78	176.26	176.51	165.13	164.40	未公表
供給単価	福岡県	195.90	193.82	192.54	192.64	192.43	191.39	190.84	190.32	190.64	191.25
	全国平均	174.78	174.31	173.51	173.46	172.47	172.95	173.12	172.34	172.47	未公表

○ 給水原価：有収水量1m<sup>3</sup>当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表すもの。

○ 供給単価：有収水量1m<sup>3</sup>当たりについて、どれだけ収益を得ているかを表すもの。

※ 本資料作成時点で、全国平均の平成 28 年度値は未公表